

栽培実験計画書

栽培実験名	除草剤グリホサート耐性クリーピングベントグラスの隔離ほ場における形態及び生育特性に関する試験
実施会社・法人名	日本モンサント株式会社
公表年月日	平成 16 年 12 月 28 日
<p>1. 栽培実験の目的、概要</p> <p>(1) 目的 除草剤グリホサート耐性クリーピングベントグラスの生物多様性影響評価に必要なデータを得るため。</p> <p>(2) 概要 本栽培実験においては日本モンサント株式会社の隔離ほ場で、平成 17 年1月から平成 17 年 11 月まで、組換えクリーピングベントグラスの栽培を行う予定です。その後、同隔離ほ場より土壌を採取し、土壌中の微生物等の状態等を調べる予定です。</p>	
<p>2. 栽培実験に使用する第 1 種使用規程承認作物</p> <p>(1) 作物の名称 除草剤グリホサート耐性クリーピングベントグラス ASR368 (<i>cp4 epsps, Agrostis stolonifera</i> L.)</p> <p>(2) 第 1 種使用規程の承認取得年月日等 本栽培実験に用いるクリーピングベントグラスは、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物多様性の確保に関する法律」に基づき平成 16 年 12 月 10 日に第 1 種使用規程の承認を取得いたしました。</p>	
<p>3. 栽培実験の全体実施予定期間、栽培開始予定時期及び栽培終了予定期間</p> <p>(1) 全体実施予定期間 平成 17 年 1 月より平成 17 年 11 月まで行う予定。</p> <p>(2) 栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期等 平成 17 年 1 月初旬 : 弊社非閉鎖系隔離温室にて播種予定 平成 17 年 1 月末 : 弊社隔離ほ場に移植予定 平成 17 年 6~8 月 : 開花予定 平成 17 年 11 月末 : 焼却予定</p>	
<p>4. 栽培実験を実施する区画の面積及び位置(研究所等内の区画配置関係)</p> <p>(1) 第 1 種使用規程承認作物の栽培規模 1,100 m<sup>2</sup></p> <p>(2) 栽培実験区画の位置 日本モンサント株式会社河内研究農場の隔離圃場 住所 : 茨城県稲敷郡河内町生板字堤向 4475-2</p>	

5. 同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項

交雑防止措置の内容

隔離畑を囲むように防風網を設置しています。また、本組換えクリーピングベントグラスの開花期間中は、調査に必要な穂については切除するとともに、調査に必要な穂には開花前から開花終了後まで袋がけを行います。

6. 研究所等内での収穫物、実験材料への混入防止措置

本組換えクリーピングベントグラスを隔離ほ場外で運搬する場合には、密閉された容器を使用し、混入を防止します。

7. 栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物の処理方法

栽培終了後は、栽培区画に植物体全体を枯死させることができる除草剤(グリホサート)を有効成分とするものを除く。)を散布し、植物体全体を枯死させた後、枯死した植物体を草焼きバーナーを用いて焼却します。その後、栽培区画に十分にかん水し、播種の際に敷いた土壌を草焼きバーナーを用いて加熱することにより残存種子を死滅させます。栽培終了後1年間は隔離ほ場内を継続的に観察し、クリーピングベントグラスの生育が確認された場合は、当該クリーピングベントグラスを地下部と共に抜き取り、隔離ほ場内に設置されている焼却炉で焼却します。

8. 栽培実験に係る情報提供に関する事項

本件の第1種使用規程承認申請に関わる生物多様性影響評価概要は、環境省バイオセーフティークリアリングハウスのホームページ (<http://www.bch.biodic.go.jp/>) で公開されています。

本実験に係る連絡先:

日本モンサント株式会社 バイオ作物情報部

電話番号: 03-6226-6081

FAX 番号: 03-3546-6191

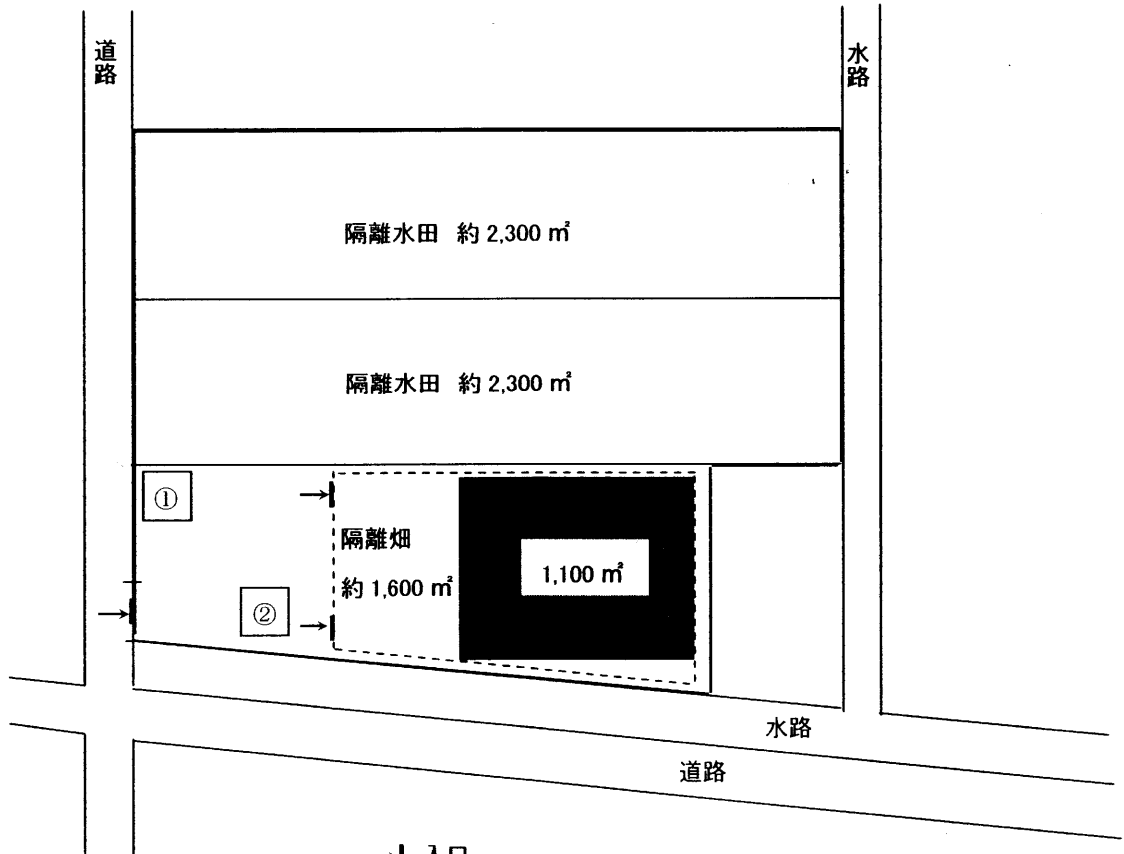
9. その他

(1) これまでの開発・安全性評価の経緯

平成16年5月20日: 農林水産省及び環境省に隔離ほ場試験の第1種使用規程承認申請

平成16年9月8日: 農林水産省及び環境省が学識経験者による検討結果を公表、パブリック・コメントの募集開始

平成16年10月7日: パブリック・コメントの募集終了



- 入口
- フェンス
- 防風網
- 今回の試験場所
- ① 洗場
- ② 焼却炉

隔離圃場全体図及び設備の配置